

# 医療福祉の地域創造会議 通信 第121号

(R6.2.8)



## 第117回ワーキンググループ会議 (R6.1.25)

### 「電動アシスト自転車思考で困りごとを解決」

#### ●話題提供者

TANOMERU 代表 宮元 藤弘 さん

#### <TANOMERU> 誕生の経緯

「介護保険の適用範囲外のことも家族の代わりに積極的にサポートすることで、どんな状況の高齢者でも自宅で安心して生活が続けられ、尊厳がしっかり保たれるようにしたい!」という宮元さんの想いから生まれました

明るく人生を楽しみきっていただきたい!

毎日をストレスなく過ごしていただきたい!

「ちょっと楽(ラク)」していただきたい!

#### 依頼があったら…

- ・高齢者の状況をしっかりヒヤリングしたうえで必要なサポートを考え、見積もりを提示
- ・すべてのサービスを時間で算出  
⇒5分330円、80分以上の長時間利用は割安で提供

#### サービス事例

掃除(風呂・換気扇・窓など)、庭木の剪定、草引き  
福祉タクシーを活用した病院や買い物の付添、外出時の排泄介助  
年末年始など介護サービスが利用できないときの入浴介助 等

話し相手になったり心配事や愚痴を聞いたり・・・  
精神的なサポートも心掛けています

病院の付添では、排泄や検尿などの介助や、  
診察内容を聞き取って家族やケアマネジャーへ報告をします

電球の交換、タイヤの積み下ろしなどは5分でOK!



何をしてほしいかをしっかり聞き取り、それに対して丁寧に仕事をするに最も気を付けている。《5分330円》を「えっ!？」と思われる方もあるかもしれないが、それを大切にやってきた。

また、知っていただくきっかけに、短い距離でも良いので福祉タクシーを利用していただきたい。顔を知っていただくことで信頼関係を築くことができ、リピートにつながっていると感じている。

本日は、TANOMERUの取り組みや地域社会での高齢者のサポートの重要性についてお話しさせていただいた。将来的にはこのサービスをさらに拡大し、天津市以外の市町でも展開してより多くの高齢者やご家族に手を差し伸べていければと考えている。



宮元 藤弘 さん

## 通信 第121号

(R6.2.8)

1月のワーキンググループ会議は、シニア世代のちょっとした困りごとをサポートする事業を展開されているTANOMERU代表の宮元藤弘さんに話題提供をしていただきました。

“家族の代わりにできることを”をモットーに、5分330円のわかりやすく頼みやすい料金設定で、介護サービスの適用範囲外のことにも対応されています。

現在は天津市内のみですが、将来的には他市町にも展開していきたいとのこと。宮元さんのような方のちょっとした手助けで、人生を豊かに過ごせる高齢者が増えると良いですね。

#### 【参加者の声】

##### 滋賀県各地域で過ごす高齢者のニーズは?

- ・雪かき、バットの散歩、墓掃除、入院や施設への入所の準備など。
- ・免許返納後の移動サポート。一般タクシーは利用しづらく、福祉タクシーのニーズは増えていくと思う。また、高齢者以外にもニーズがあると思う。
- ・独居か同居か、また、住んでいる地域によってもニーズは違うと思う。

##### 介護保険外サービスが地域社会にもたらす価値は?

- ・昔はあった地域での助け合いを補えるかもしれないが、やりすぎるとますます希薄になってしまうのではない。
- ・介護保険サービスは書類の提出が煩雑でタイムラグがある。気軽に頼めるというのが良い。
- ・“本当はしてあげたいけど介護保険サービスではできない”ということは、実際にたくさんある。そういったことも何でも引き受けてくださる事業所は大きな存在で、今後増えてほしい。
- ・信頼関係が構築されているからこそ成り立っている。人と人とのつながりによって事業が拡がり、それをきっかけにコミュニティができるなどの付加価値がある。
- ・介護保険は必要最小限のサービスが大半。人として豊かに生きる、楽しく生きるという点において、こうしたサービスは非常に価値が高い。

##### 一緒に取り組めるプロジェクトやアイデア など

- ・障害者や子ども向けのサービスにも拡がると良い。
- ・介護保険は当事者へのサービスなので、家族のサポートを。
- ・TANOMERUの送迎で集まりの場に出向き、コミュニティづくりにつながっていくと良い。
- ・時間制の料金設定だけでなく、サブスクがあっても良い。

##### その他

- ・頼むことに抵抗や遠慮を感じる人の心を動かす方法を考える必要がある。
- ・“ちょっとしたこと”の支えがあれば生活できること、楽しみを手放さなくていいことは、これから老いていく自分のわがこととしても希望に感じられる。

#### 【次回ワーキンググループ会議】

- 日時：令和6年2月22日(木) 18:30~20:00
- 場所：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが(近江八幡市/Web参加可)
- テーマ：「当事者の声 ~医療的ケア児とその家族~」
- 話題提供者：重田 祐美 さん



#### 医療福祉の地域創造会議 事務局

(滋賀県庁 医療福祉推進課内)

TEL 077-528-3529

FAX 077-528-4851

e-mail info@chiikisouzoukaigi-s higa.jp